

決 算 報 告 書

第 33 期

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

株式会社 シー・イー・エス

愛知県名古屋市中区錦 3 丁目 10 番 32 号
栄 V T ビル

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	231,273,574	流動負債	10,262,883
現金及び預金	18,934,275	買掛金	1,395,634
売掛金	17,679,815	未払金	80,400
商品	34,996	未払法人税等	35,500
仕掛品	1,662,617	未払消費税	2,237,900
貯蔵品	4,905	未払費用	5,270,105
未収入金	403,342	預り金	1,243,344
短期貸付金	190,000,000	固定負債	46,071,014
前払費用	1,437,724	役員退職慰労引当金	46,032,483
未収法人税等	1,115,900	繰延税金負債(固定)	38,531
		負債の部合計	56,333,897
固定資産	7,224,384	(純資産の部)	
有形固定資産	5,739,824	株主資本	182,164,061
車両運搬具	5,586,190	資本金	10,000,000
工具器具備品	153,634	利益剰余金	172,164,061
無形固定資産	329,600	利益準備金	2,500,000
電話加入権	329,600	その他利益剰余金	169,664,061
投資その他の資産	1,154,960	繰越利益剰余金	169,664,061
差入保証金	1,154,960	(うち当期純損失)	711,415
		純資産の部合計	182,164,061
資産の部合計	238,497,958	負債・純資産合計	238,497,958

個別注記表

<重要な会計方針に係る事項に関する注記>

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 商品・仕掛品・・・・・・・・個別法による原価法
- (2) 貯蔵品・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法

2 固定資産の減価償却費の方法

(1) 有形固定資産

定率法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2) 無形固定資産

定額法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）による定額法

ソフトウェア（市場販売分）については、見込販売数量に基づく償却額と見込有効期間（3年以内）に基づく均等配分額とのいずれか大きい額を計上する方法

3 引当金の計上基準

(1) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込み額を計上しております。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については税抜方式によっております。

<株主資本等変動計算書に関する注記>

当事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式

200株